

安全データシート

JIS Z 7253:2019 に基づく安全データシート

作成日：2024年03月28日

文書番号：DSKK-TSDS-021

版番号：第1版

1. 製品及び会社情報

製品情報

販売名	アートブロック テンプ
品番	31000460～31000463、31000465～31000468
用途	歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニットとともに、歯科高分子製補綴物作製に用いる。
使用の制限	メタクリル酸系のモノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

安全データシートの提供者の詳細

名称	デンツプライシロナ株式会社
住所	東京都中央区銀座八丁目 21 番 1 号 住友不動産汐留浜離宮ビル
電話番号	03-6264-2802
緊急連絡先	
電話番号	03-6264-2802（信頼性保証本部 品質保証グループ）

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	該当しない
健康に対する有害性	該当しない
環境に対する有害性	該当しない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル	該当しない
注意喚起語	該当しない
危険有害性情報	該当しない
注意書き	
【安全対策】	情報なし
【救急処置】	情報なし
【保管】	情報なし
【廃棄】	情報なし
他の危険有害性	情報なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の別： 混合物

化学名	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法)	含有率(%)
PMMA	-	6-176	> 98
メタクリル酸メチル	80-62-6	2-1036	< 1
過酸化ベンゾイル	94-36-0	3-1349	< 1

4. 応急措置

応急措置	
吸入した場合	粉塵を吸入すると、呼吸器系に炎症を起こすおそれがある。特に呼吸領域にアレルギー症状が現れた場合は、直ちに医師の診察を受けること。新鮮な空気の場合に移動させること。
皮膚に付着した場合	直ちに多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚に炎症がある場合は、医師の診察を受けること。
眼に入った場合	直ちに洗眼機または流水で注意深く十分に洗い流すこと。 目に炎症がある場合は、眼科医の診察を受けること。
飲み込んだ場合	嘔吐した場合は誤嚥に注意すること。 症状がある場合もしくは疑わしい場合は、医師の診察を受けること。
急性症状及び遅達性症状の 最も重要な徴候症状	アレルギー反応
応急処置をする者の保護	情報なし
医師に対する特別な注意事項	情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水ミスト、泡消火剤、二酸化炭素消火剤、粉末消火剤
使ってはならない消火剤	棒状注水
火災時の特有の危険有害性	この物質は可燃性であるが、容易には発火しない。 熱分解により、二酸化炭素および一酸化炭素が生成される。
特有の消火方法	火災の状況に合わせた消火活動を行うこと。 汚染された消火用水は回収し、排水溝や地表水に流入させないこと。 狭い場所で二酸化炭素を使用する場合は注意すること。(二酸化炭素は酸素を置換するおそれがある。) 爆発ガスや燃焼ガスを吸入しないこと。
消火を行う者の保護具及び予防措置	自給式呼吸用保護具と化学防護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 及び緊急時措置	粉塵の生成を避けること。 蒸気/粉塵/エアロゾルが発生する場合は、呼吸用保護具器を着用すること。 個人保護具を使用してください。
環境に対する注意事項	特別な環境対策は必要ない。

封じ込め、浄化の方法及び機材	<p>環境への放出を避けること。</p> <p>固形物は湿らせて回収するか、掃除機で吸い取ること。</p> <p>回収には承認された工業用掃除機を使用すること。</p> <p>粉塵や静電気が発生する可能性があるため、乾いたブラシは使用しないこと。</p> <p>機械的に回収すること。</p> <p>回収した製品は、13 項の規定に従って処理すること。</p>
二次災害の防止策	情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	<p>局所排気換気が使用できないか不十分な場合は、作業場全体を技術的手段で換気すること。</p> <p>粉塵は発生源から直接排出すること。</p>
安全取扱注意事項	<p>エアロゾルや粉塵の発生を避けること。</p> <p>粉塵を吸い込まないこと。</p>
混融危険物質との接触回避	情報なし
衛生対策	情報なし
保管	
安全な保管条件	<p>汚染や湿気の吸収を防ぐために、パッキンを乾燥した状態に保ち、しっかりと密封すること。</p> <p>直射日光を避けること。</p>
安全な包装容器材料	情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	<p>5 mg/m³ (TWA(8h)) (過酸化ベンゾイル)</p> <p>100 ppm, 410 mg/m³ (TWA(8h)) (メタクリル酸メチル)</p>
許容濃度	設定されていない
設備対策	<p>カバーなしで取り扱う場合は、可能であれば局所排気装置を備えた設備を使用することが望ましい。</p> <p>ハンドツールは排気一体型が望ましい。</p> <p>効果的な排気換気システムを使用すること。</p> <p>必要に応じて、適切な除塵設備を備えた手動工具または低速工具を使用することが望ましい。</p> <p>高速ツールを使用する場合には、必ずこのような機能を装備する必要がある。</p>
一般的注意	<p>作業中は、飲食、喫煙、鼻すりをしないこと。</p> <p>粉塵を吸い込まないこと。</p> <p>休憩前と作業終了時には手を洗うこと。</p>

	作業中は飲食しないこと。
保護具	
呼吸用保護具	<p>技術的な排気または換気対策ができないか不十分な場合、呼吸用保護具を着用する必要がある。</p> <p>作業場の濃度が暴露限界値を超える場合、呼吸用保護具が必要である。</p> <p>フィルターのクラスは、製品の取り扱い時に発生する可能性のある最大汚染物質濃度（ガス/蒸気/エアロゾル/微粒子）に適したものでなければならない。</p> <p>厚生労働省の提言等を踏まえて呼吸用保護具を選定、使用すること。</p>
手の保護具	<p>テスト済みの保護手袋を着用すること。</p> <p>可能であれば、綿製のアンダーミトンを着用することが望ましい。</p> <p>肌の再生のために回復期間をとること。</p>
眼及び/又は顔面の保護具	防塵メガネ及び目/顔の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
特別な注意事項	情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
色	白～ライトベージュ
臭い	無臭
融点/凝固点	該当しない
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当しない
可燃性	固体：データなし、ガス：該当しない
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし。製品の形態では粉塵爆発の可能性はないが、微細粉塵が多くなると粉塵爆発の危険が生る。
引火点	> 250 °C (ASTM D 1929-68)
発火点	> 400 °C (ASTM D 1929-68)
自然発火点	固体：データなし、ガス：該当しない
分解温度	> 250 °C
pH	該当しない
動粘性率	該当しない
溶解度	水に不溶。他の溶剤にも不溶。
n-オクタノール/水分配係数	該当しない
蒸気圧	該当しない
密度及び/又は相対密度	1,189 – 1,198 g/cm ³
相対ガス密度	該当しない
粒子特性	該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性	規定に従って取り扱いおよび保管した場合、危険な反応は生じない。
化学的安定性	この製品は、推奨される保管、使用、温度条件下で化学的に安定している。 分解は 250 °C 以上の温度で起こる。
危険有害反応可能性	起こる可能性がある。 規定に従って取り扱いおよび保管した場合、危険な反応は生じない。
避けるべき条件	乾式粉碎では有害な粉塵が発生する。
混融危険物質	強力な酸化剤
危険有害な分解生成物	熱分解により、刺激性のガスや蒸気が発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	LD ₅₀ > 5,000 mg/kg (ラット) (メタクリル酸メチル) LD ₅₀ > 2,000 mg/kg (ネズミ) (過酸化ベンゾイル)
経皮	LD ₅₀ > 5,000 mg/kg (ウサギ) (メタクリル酸メチル)
吸入：ガス	情報なし
吸入：蒸気	LC ₅₀ 29,8 mg/L (ネズミ：4 時間) (メタクリル酸メチル)
吸入：粉じん及びミスト	LC ₅₀ > 24,300 mg/L (ラット) (過酸化ベンゾイル)
皮膚腐食性/刺激性	情報なし
目に対する重篤な損傷性/眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	吸入すると、アレルギーや喘息の症状、呼吸困難を引き起こすおそれがある。 粉塵や霧を吸い込まないこと。
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	メタクリル酸メチル及び過酸化ベンゾイルはグループ 3 にリストされている。
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	情報なし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	情報なし
誤えん有害性	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	
一般的注意	製品の水溶性の低さおよび粘稠度により、生体の利用性は低いものと思われる。 環境に危険とは
水生環境有害性 (急性)	情報なし

水生環境有害性 (長期間)	情報なし
残留性・分解性	データはないが、経験的にこの製品は不活性であり、分解されない。
生体蓄積性	水溶解度は 20°C で < 1 mg/L。 排出/分解および生物濃縮に関する既存のデータに基づくと、環境に対する長期的な損害のおそれはない。
土壌中への移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	地方自治体の許可を得た産業廃棄物処理に処理を委託すること。
汚染容器及び包装	汚染されていない容器はリサイクル可能である。 汚染された容器は、地方自治体の許可を得た産業廃棄物処理に処理を委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	該当しない
国連品名	該当しない
国連危険有害性クラス	該当しない
副次危険等級	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
MORPOL73 付属書及び IBC コード によるばら積み輸送される液体物質	該当しない
国内規制	
海上規制情報	船舶安全法に従う。
航空規制情報	航空法に従う。
陸上規制情報	消防法、道路法に従う。
特別な安全上の対策	情報なし
その他 (一般的) 注意	情報なし

15. 適用法令

化管法 (PRTR 法)	第1種指定化学物質 (メタクリル酸メチル)
労働安全衛生法	危険物・引火性の物 (メタクリル酸メチル) 危険物・爆発性の物 (過酸化ベンゾイル) 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 (別表第9の577:メタクリル酸メチル)、(別表第9の2: 過酸化ベンゾイル)
道路法	車両の通行の制限 (メタクリル酸メチル) (過酸化ベンゾイル)

消防法	第4類引火性液体、第一石油類非水溶性液体 (メタクリル酸メチル) 第5類自己反応性化学品、有機過酸化物 (過酸化ベンゾイル)
港則法	その他の危険物・引火性液体類 (メタクリル酸メチル) 爆発物・酸化性物質類 (過酸化ベンゾイル)
航空法	引火性液体 (メタクリル酸メチル) 酸化性物質類・有機過酸化物、輸送禁止 (過酸化ベンゾイル)
船舶安全法	引火性液体類 (メタクリル酸メチル) 酸化性物質類・有機過酸化物 (過酸化ベンゾイル)
大気汚染防止法	揮発性有機化合物 (VOC) (メタクリル酸メチル類) 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質 (メタクリル酸メチル)
海洋汚染防止法	有害液体物質 (Y類物質) (メタクリル酸メチル)
労働基準法	感作性を有するもの (メタクリル酸メチル) 疾病化学物質 (メタクリル酸メチル)

16. その他の情報

用途上の注意	情報なし
記載内容について	この情報は当社の現在の知識に基づいています。ただし、これは特定の製品機能の保証を構成するものではなく、法的に有効な契約関係を確立するものでもありません。 安全データシートには、販売店による輸送中や保管中の事故などにより大量の物質が放出された場合の危険性と取るべき措置が記載されています。 臨床現場で通常使用される材料の量については、製品の安全な使用と保管に必要な情報が添付文書に記載されています。
参照文書	Safety Data Sheet "artBloc Temp®/artificial Teeth OMP-N® + HMP-N®/PMMA-Discs/artVeneer®/BD Load® " Revision date:02.02.2018 Revision 6